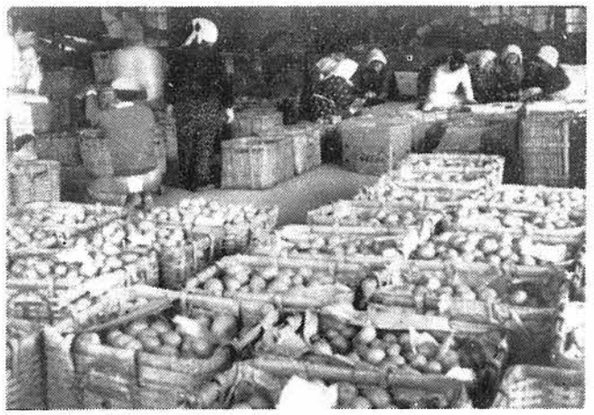
津奈木

前史九郎

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）代表 3118番

謹賀新年



集荷場における選果

更に一層の御協力を

町長　齊藤亀齢

町民のみなさん、明けましておめでとうございます。

さて新年を迎えるにあたり、去年の事を考えてみますと、まづ津奈木村が津奈木町と衣がえしたこと、農業構造改善事業の予備指定を受けたこと、津奈木十拓事業が格段の進捗したこと、津南中学校の技術課程校舎の新築が、みなさんの御協力によりまして進行中でございます。

又農産物におきましては湿害でどうであろうかと心配されていました米が農家のみなさんの努力により史上第二といわれるほどの豊作をみせ、成長産業の蜜柑も去年の三倍の売上が予想され、煙草も去年の約二倍の収入をみこまれています。

その他、甘藷、蔬菜類等の作柄も良好で「まあまあ」というところが本音でしょうか。

さていろいろ考えますに農家は「暮しはできるがらくではない」というのが現状で、それがどこに原因するのかというとどうも「利己主義的」で大きくまとまりができないことがその二つのようであります。

例えば農産物や水産物の出荷にしてもテンテンバラバラになると仲買人から買いたたかれしし、雨だれ出荷」とけいべつされる。どこの市場へいっても「良い品を多量に続けて」というのが切なる希望のようであります。

そこで私たちは町経済の中心たる農協の強化ということが使命であります。農協の弱体化ということがどんな町勢を左右するかよくよく考えねばならぬことであります。

申すまでもなく農協の強化には出資金の増額、貯金の増大、共同販売の強化等いろいろございますが要は心から協力し実行することの一語につきるものと思うのでどうか皆さんの尚一層の御協力をお願いします。以上述べまして新年の御挨拶と致します。

新年おめでとうございます　本年もどうぞよろしく

津奈木町長　斉藤亀齢
助役　松原兼義
収入役　松本金義
総務課長　丸田繁人
経済課長　長浜　学
税務課長　元村　壮
町監査委員　門崎善太郎
　　永田　肇
町議会議長　福村広人
副議長　浜本喜楽
総務委員長　釜　忠彦
委員　野崎俊光　福島円太
　　田崎一幸　山口孚子
　　水里吉香
教育厚生委員長　森山勝義
委員　山崎　好　諫山　貢
　　山口　勲　永田　肇
土木産業委員長福山義人
委員　諫山繁敏　諫山保澄
　　緒方孝行　千々岩保馬
○農業委員会長　門崎善太郎
副会長　岡本秋徳
委員　平野　正　農島兼一
　　伊藤一高　吉野　順
　　荒木茂太郎　福島末喜
　　田島末信　寺本一喜
　　沢田　進　谷村行雄
　　西川三好　高木正利
　　西平　武　福山　明
○部落区長会長　沢田　進
副会長　野崎順太
区長　松永　博　上原喜久太
　　大園一馬　黒江重光
　　船場喜一　西川　渡
　　西　好弘　川野　浩
　　黒山安喜　下田英蔵
　　松原政義　門崎初義
　　西平定義　福田政彦
　　長浜貞彦　林田重恭
　　諫山保澄　白坂　茂
　　千々岩隆志
○農業構造改善事業協議会委員
会長　諫山　貢
副会長　川崎一幸
〃　寺本一喜
委員　山口　勲　緒方孝行
　　永里吉香　門崎善太郎
　　福山　明　岡本秋徳
　　山崎　好　上原安喜
　　村上常喜　沢田　進
　　山崎宝満　松田明治
　　大園正視　松原兼義
　　長浜　学　鶴田宣尊
　　山口太作　緒方　洋
　　斉藤たま　斉藤亀齢
○土地改良理事長　斉藤亀齢
理事　福山　明　吉野　順
　　高木信行　森山勝義
　　沢田　進　西川三好
　　岡本秋徳　荒木茂太郎
　　門崎善太郎　寺本一喜
　　谷村行雄　山崎　好
　　松原兼義
　　監事　福山義人　山路　茂
○教育委員長　福島峯雄
副委員長　田上一智
教育長　岡松　壮
委員　緒方　洋　西　保馬
津南中学校長　兼田　広
PTA会長　釜　忠彦
津奈木小学校長　田添正人
PTA会長　川崎一幸
　　赤崎小学校長　田村　正
　　PTA会長　諫山保澄
　　平国小学校長　福島秀仁
　　PTA会長　野崎俊光
　　津奈木駐在所　森田政彦
　　津奈木駐在所　吉村末利
　　福浦駐在所　磯崎
　　津奈木郵便局長　竹永竹人
　　福浜郵便局長　林田輝幸
○消防団長　釜　忠彦
副団長　長浜一郎
〃　菅島弥一郎
○民生委員長　田上一智
委員　福田信順　福村安則
　　山口チフ　山口孚子
　　森山シズエ　吉野ヒサエ
　　永松清次郎　山下清子
○選挙管理委員長　鎌川維満
委員　千々岩福母　福田信順
　　丸田繁人　志崎鳥末
森林組合長　斉藤亀齢
津奈木校区婦人会長斉藤たま
赤崎校区婦人会長　松田しき
平国校区婦人会長　吉野イス
津奈木青年団長　西川清補
津奈木漁協長　高木信行
○津奈木農協組合長　斉藤亀齢
理事　山崎　好　山崎宝満
　　緒方　洋　村上常喜
　　森山勝義　沢田　進
　　斉藤たま　上原安喜
　　寺本一喜
監事　林田　充　鶴野満真
○公民館長　斉藤亀齢
〃副館長　岡松　壮
〃主　事　松本好栄
〃書　記　伊藤秀志
〃係　永田シズエ

郷土めぐり

深水玄門さん

千々岩頼母

玄門さんは元来お酒は好きではなかったが、人がたづねて来ると酒の好きな人にはきっと酒を出された。自分は酒はのまれないが酔うたお客さんの中に居て、自分も共に楽しんで居られた。玄門さんは鼻高で耳が大きく、眼澄み眉美しく之を見る人の相があった。かって日課を立てゝ、朝は早く起き、室内を掃除し机などを整理してから煙草を吸いお茶をのみ朝ごはんをたべてから病客をみられた。又弟子には病気や其の治療等につきよいか悪いかについて細かに論ぜさせられた。午後は庭園をまわって松や庭石の際に垣をしたり花を植えたり又蘭を移したり等して汗が出る位の事をしていられた。又書をかく気持になり興がのれば大字、細字、楷行草書等自分の意のまゝにしていられた。夜は聖人賢者の本を読み、心を美しくする様修養に努められた。その様にする事三十年一日の如くであった。

「願はくば父母からいただいたこの貴い体を大切にして、病気にかゝらない様にしたい」と念じ日行じていられた。

玄門さんは早くから親孝行を以て知られ、朝はまだ夜の明けない中に起き先祖の御霊を拝み、家を出る時にはきっとどこそこに行って来ると家人に告げ、かえって来ると只今かえりましたと報告していられた。この事は其の死なれる迄決して怠られなかった。お仕えしていた藩公の亡くなられた時は毎月の忌日はどんな悪い時雨い時風の日も雨の日もいつなく必ず行って其のお墓に拝んでいられた家に居る時はゐる時といえどもまだ一度も脚を藩公の方や墓の方に向けられる様な事はなかった。

非常にお茶好きであったが藩公は御在世中喜選を常用していられたので自分はそれより良いのをのんではならないと何時もよくない茶をのんでいられた。

学校便り

津奈木小学校

○十一月十九日算数研究発表会　去年にひきつづいての研究で、子供の実力もつき、自信もできて講評も大へんよかった。

赤崎小学校

○十二月二日県教育庁の指導室の三室、杉村、久佐賀の三指導主事の指導があった。

○十二月六日教育長会教育庁青北地方出張所の関係者全部と教育長がよって教育長会が開かれた

平国小学校　ピアノ開き以後面目を一新し、学習も躾けも活気をおびて、子供も先生も日々の学校生活が張切っている。

○民家との境にブロックへいができたことはもう夏のことで旧聞に属するが、PTAの人たちが工事の手伝に出てその賃金五万余円をそっくり学校に寄附した

津南中学校

○十二月　四日工作室の起工式

○十二月十七日産業教育発表会　津南中を会場として水三中湯出中葛渡中の四校の合同発表会

○十二月二十日　工作室の上棟式

青年団便り

○十一月十一日～十六日西川清補君は全国青年大会に、青北郡選手団長として東京に出席

○十一月十七日青年の幹部男女は湯児松乃家を会場として一日研修会を開いた。

助言者として千々岩頼母氏蟻川雄満氏福田信順氏九田繁人氏、田上一智教育委員岡松教育長出席

○十一月十九日公明選挙のパレードをする。単車十数台をつらね旗、タスキ、鉢巻もものもしく雨をおかして町内をねり廻る

○十一月二十一日選挙当日は棄権防止を町内に呼びかける。午後六時になっても投票が少なかったので、更に呼びまわる。そのためか知らぬが郡で二位の投票率であったとか

○十一月二十三日郡青年総合祭が田浦中学校で行われ、卓球、バドミントン、相撲に優勝

○十一月三十日バレーボール大会津南中体育館で開く、ここで持筆すべきことは上下川は一部落でありながら一チームをつくり他の大字チームに対し堂々戦いは二位をえた。

○十二月二十四日　クリスマス前夜祭を多彩に実施した。

○婦人生思想の普及環境衛生の徹底につくしたことにより知事より表彰された

西川　渡
船場喜一

○昭和二十二年以来各種統計調査員として活躍しその実績優秀であるとして協会長より表彰

諫山保澄

○熊本県園芸品評会（会場県農業会館）での入賞者本町分は次のとおり。

果実一等　岩崎　徹
〃　三等　新立　和市
〃　〃　寺本　一喜
立木三等　坂本　義雄

婦人会便り

十一月廿七日　子供会の話合
十一月廿九日　料理教室スキンミルクを用いた料理実習
午後　家計簿のつけ方講習
講師　柿原先生
十二月十三日　年末年始の新生活運動について
一月十日　演芸会（西の公民館報百回記念祝賀をかねて）

栄光の人々

十一月十七日　夜学会の話合
十一月十九日　料理教室スキンミルクを用いた料理実習
午後　家計簿のつけ方講習
講師　柿原先生
十二月十三日　年末年始の新生活運動について
一月十日　演芸会（西の公民館報百回記念祝賀をかねて）

柳迫・吉野両選手の昨今

日本のカヌーを語るとき、本町の柳迫、吉野両君を外にしては語れない。いいかえると、両君の成績が日本のカヌーの成績となるのである。

こう考えると、両選手はもちろんだろうが、われわれも何だかカッおそろしくさえ感ずる。

しかし、四月と八月の二回、フルイにかけられる。

ここまで来たのだから、二回のフルイにも落じてはならない。大いに応援を送ろう。

両選手は、十一月廿八日から十二月廿八日まで、熊本市の江図測で全国の仲間と強化合宿をしました。

ワザより体力をいれての強化であった。

赤崎婦人会の味噌漬の味

球磨郡湯前町下村の婦人会を視察していろいろ感心しましたが、とくに感銘の強かったのは味噌漬のことであります。帰って会員のみなさんと話合って、私たち赤崎でも味噌漬をつくることにいたしました。その日記を見ますと

(一) 十月末麦と豆を集めました。麦は一人五合、豆は湯呑一杯。

それが集って麦は三俵半、豆は五升これを材料にして

(二) 十一月五日ムシしてこうじを作り四五日して味噌をつきました。

(三) 十一月二十日三十日十二月十日の三回に大根しょうが人参きうりなどを集め、いま味噌につけ込んでいます。

ほどよく味がつきますと、一般に売り出したいと思っていますからどうぞご期待下さい。

何べんも湯前町下村と連つくをとり、更に見にいったりして作りましたので味は湯前のものに負けないと思っています。

JAS

このマークをごらんになったことがありますか。

このマークは農林省が商品を検査して、合格した品だけにつけさせるものです

JASのJはJAPANESEのJで日本の、AはAGRICULTURALのAで農林、SはSTANDARDのSで規格、つまり日本農林規格の略称であります。

われわれ消費者からみれば、このマークがついている品物だったら安心して買えるということであります。

このマークは農産物、林産物、畜産物、水産物とこれらを原料として作られたもの、加工されたものにつけられるもので、範囲は広いJISマークというものがあることはご存じの通りであります。「よい品を安く」という目的で、日本工業標準に合格したものにつけられるマークであります。

およろこび

岡本　正勇　十一月六日
松本ツユ子
高橋　角齢
山路　初子　十二月九日

おくやみ

次の方々が逝去されました、謹んで御冥福をお祈り致します。

部落　死亡者　世帯主
古中　北岡モノ　岩八
日添　松崎虎喜　茂生
上下　門崎正義　栄蔵
日添　鍋原ミツノ　不二人
川内　北岡雪雄　ハギノ
小津　白坂鶴人　シラ
染竹　鶴野孝蔵　千寿
内野　平生ミノ　坂口平太郎
日添　長浜フジ　安恵
福浦　福田健蔵　キクヨ
町中　財部リツ　敏
古中　黒田市郎　実喜

カーヌ後援会寄附追加

金二千円也　白浜　哲哉

年頭のあいさつ

町議会議長　福村広人

町民の皆様謹んで新年の御祝詞を申上げます。

全国有数の柑橘の最適地として諸条件を具備した私達の町の本年は「ミカンの年」であると思います。又必ず柑橘の年にしなければならないのであります。

即ち農民多年の宿願であった農業構造改善事業も昨年の予備指定より実施への初年度でもあり誠に意義深い年であります。

しかしながら実施指定実現への道は尚未確定であり、従って今後町民各位の総力を結集して一層努力しなければなりません。

又構造改善事業実施区予定以外の農家の皆様も大いにこの機会に研究考慮され町当局は勿論、議会も当然善処して町を挙げて農家所得の増大に邁進しようではありませんか。

幸い農協に於けるミカンの出荷情況によると三十八年度は売上壱千万円以上となりその年毎の増収率は正に倍増であり、こゝ数年を待たずしてその収量は驚くべき数字をもたらすこと必然であります。

かくして本町のミカンの町としての前途は幾多の困難な諸条件はあると致しましても洋々たるものがあると確信する次第であります。

次に前村長当時の懸案たる津奈木大干拓も本年は四十一年度見定成を目ざして相当の予算が投入され着実に遂行される予定であります。

私達の町議会も現在の議場は町民各位の御承知の通りでありますので本年はなんとか町民の皆様の御意志を反映させるに充分な議場を一日も早く定例議会で研究善処するようはかられたのであります。

本年は議会も改選二年目で御座居ますので地方自治での本旨にのっとり町民各位の声に傾聴し町当局と緊密なる連繋を取りながら町政発展に町議会の全機能を発揮する所存でありますので町民各位の一層の御鞭撻御支援をお願い申上げまして新年の御挨拶と致します。

コーラスグループ生る

平国婦人会

▽草野先生がいられた時にさそ津奈木にはコーラスは生れなかった誰でも望んでいたのに、それが平国にはスルスルと生れ出た。

▽肥後銀行がピアノを寄附されること三十六校となるのに、まだ平国校のようにお母さんたちのコーラスを聞いたのは始めてだったと甲斐営業部長がほめられたがそれほど珍らしいコーラス団が平国婦人会に生れた。

▽コーラス団の生れた動機はかんたんである。しかしその原因は深く遠い。生れ出ずべく土の中にあたためられていたのである。

▽突然に生れたものでないことは前にのべたとおりだから、一回で終るものでないこともいうまでもない。最近聞いたところによると外の部落の人も加えるとか、子供も加えてやろうかなど、大いに発展しそうな形せいである。

▽コーラスに加わっていられる方全部が、判でおしたように「家庭が明るくなった」といわれる。又子供が勉強のお反だちができたと元気づき、たのしく学校にゆくようになったとも聞いた。

▽ピアノは平国校と婦人会を大きくゆり動かした。そしてコーラスは平国の各家庭を、子供を、部落を大きく変えようとしている。

平国婦人会コーラス部

半生人のため世のため

吉野仙太郎さん

赤崎

日本の区長連山保治さんがいつも吉野仙太郎さんのことを話していられたが、お会いしてみて「なるほどえらい人だ」ということがわかった。

七十四才でかけ方も知られないほどのおおじいさんであるが、やられたことはどんなに学のある人でもできないことを、三、四十年つづけられるのにおどろく。

去年の道の大改修で、これまで通りにくかった道が、コンクリートで固められて、仙太郎爺さんの苦心のあとはおろわれてしまってる」というのが信条である。自分見るよしもないが、相当の長さの道を、石をならべ、石だんをきづき地ならしをし、溝をほりえ、道のぐるりの石垣をきづかれたらしいこと。

こんどは宮の石だん、お墓にゆく道も仙太郎爺さんの苦心の手によってよくなっている。

お宮に上る道も、お墓にゆく道も「誰かがするだろう」で結局誰も通りようするものがなく、不快のまま通りすぎている。その誰かの役を仙太郎爺さんが買ってでられるのである。ちょっとまねのできないことである。

「人も喜び、自分も喜ぶ」「人のためにもなり、自分のためにもな

仙太郎爺さんのような人は珍らしい。

親子駅伝

内野子供会

さる十二月十五日夜の親子会で次のことをきめた。

1、年代塚のお掃除をすること。

2、朝夕のあいさつをすること。

3、元旦には午前七時に親子お寺まいりをすること。

4、元日午前十時からの班別（四班）対抗の駅伝を行う。

両親小中学生でチームを組む。

5、その後年代塚で親子ソフト、バレー・ボールの球技をやる。

この時の会の助言者であった田上さんの話によると「子供と共に親さん方が遊んだり共によいことをなさることを知った。小中学生たちの目はかがやき、やることがキビキビし、仕事を進んでやり、発言も建設的で、今までにないかわりかたであった」とのこと。

ここまでもって来るまでには、お父さんたち、婦人会のかねてのたゆまない努力の結果である。

防犯

水俣警察署

○年末は忙がしいので鍵をかけるのを忘れるものです。

「戸にもカギ」「心にも力ギ」を合言葉に

（年末、年始防犯はこうして

マます寝る前に戸締りをしっかり、ガッチリ

マ外出するときに戸締りを厳重にして、お隣りえも頼む

マ汽車、電車、バス等のこみ合う場所では「スリ」に用心を

マ大金は分けて持つ、銀行帰りの時は特に注意

マうますぎる話には「ワナ」がある。のらないように。

暴力を見た目で直ぐ一一〇番へ

マみんなの力で暴力のいない明るい町をつくりましょう。

マ小さな暴力でも必ず届けましょう。

マ暴力をそだてる温床入りはやめましょう。

交通の三悪追放とは

1無免許運転

2飲酒運転

3スピードの出すぎ等をしない、させない事です。

水俣警察署

津南中工作室の起工式と上棟式

去関前の旧校舎をとりこわしてあとに八十二坪の工作室が建てられる。請負人大園一馬氏、一月完成の予定

上棟式におしつまった二十日、五色の旗のたった新屋上でかたの如く式があり、餅なげがあった。

津奈木みかん評判記

津奈木ミカンの七割を買うてくれる、小林市で食うミカンの九割は津奈木ミカン、ということで、去る十二月十日町長と経済課長浜氏山崎農協専務とが、御礼かたがた懇談に小林市を訪問した。

小林市では青果市場幹部のかたを初め、市役所でも総務課長商光観光課長を加えての歓迎であったのには恐縮した。

席上、「津奈木ミカンを御愛用くださっていて、まことに有難うございます」と、直接手をふれていられる市場の常務植木・松本氏、主任植田氏小売組合長の斉藤さんに聞くとみな口をそろえてほめることばかり、ダンボールに入っていることその量も頃及も適当、味もよい選別もよいなどと

「そればかりはどうも物足りなくて」といえば、強いて申しますと一粒が少し小さければ、それだけですと、とにかくベタほめであった。市場の方でも「十二万人の育後かあります。これからもある。

ねばなりませんので、ここで御遠慮のない御感想をお聞かせ下さい。

私の生活設計

赤崎緒方兼人

私は三十一才で二人の親です。十八九才の頃から月給取りにはならないで農業を自分でやろうとときめ、同級生が大阪に名古屋に出て一生懸命でもがいました。無ていに農協から牧野造成資金などを借りて、樹園地を求めました。

これから先も植栽資金とか資金とかあるそうですから、借りたいと思っています。

金を借りることを恐のように思うが、私はそうは思いません。

政府がわれわれ農民を引上げるために、近代化資金などの名目で金を用意していて貸してくれる。

私は十二月十五日夜の親子会で次のことをきめた。

1、年代塚のお掃除をすること。

2、朝夕のあいさつをすること。

3、元旦には午前七時に親子お寺まいりをすること。

4、元日午前十時からの班別（四班）対抗の駅伝を行う。

両親小中学生でチームを組む。

5、その後年代塚で親子ソフト、バレー・ボールの球技をやる。

この時の会の助言者であった田上さんの話によると「子供と共に親さん方が遊んだり共によいことをなさることを知った。小中学生たちの目はかがやき、やることがキビキビし、仕事を進んでやり、発言も建設的で、今までにないかわりかたであった」とのこと。

ここまでもって来るまでには、お父さんたち、婦人会のかねてのたゆまない努力の結果である。

面目一新の農協

山崎好

かがやかしい昭和三十九年の新春をむかえ、心からお祝いを申し上げます。本年も一層の御支援御協力のほど心からお祈りいたします。

昭和三十八年度のわが農協は、いよいよ軌道にのり、あげ潮の状態で、他に負けない力のほど心からお祈りいたします。

大いにのびる力をもっていまこれからも手をつないでいきましょうといわれるし、こちらでも渡りに舟の関係「よろしくお願いします」で訪問の目的を十分果して帰った。最後に、小林市の観光を紹介して終りにしたい。

○陰陽石のこと、野口雨情はこの石を見て

浜之瀬川には二つの奇石

人にやいうなよ語るなよ

とうたった珍らしい岩がある。

それよりも紹介を忘れてならないことは、出の山公園である。湧水量の多いこと水前寺の比でない。その水を利用して、鯉やますなどを養殖してある。そこに小さな湖が

内皆様の強力な御支援のたまものと深く感謝いたします。

三十八年二月に役員改選により、新しい役員が生れ、時代にかなった見地から事務所に耐火施設の金庫をつくりました。引続き窓口の改善をいたしましたので、今では立派な事務所となりました。

一方町役場と連絡を密にし、三十九年度の農業構造改善本指定を目ざし、町をあげての農協再建意欲は百倍に達しました。この結果出資金も毎日続々加額され、資金面においても昨年同期に比し一九〇%を記録いたしました。又、共済事業も目標額一億円達成にあとわずかとなっています。特に蜜柑の販売高は目だって増し、一昨年六〇屯に対し、金額にして三〇〇万が一二〇〇万を突破する好成績をあげるにいたりました。

そもそも津奈木蜜柑は名青果市場では断然トップで、需要を満たされないほどであります。東京では勿論であります、宮崎県小林市場では津奈木蜜柑でなければならぬほどの名を得ました。これはみなさまの農協に対する全面利用と私欲をわすれた共同出荷のたまものと思います。

本年は特に農業構造改善を目の前にひかえ、尚一層健全な農協経営をおし進めて津奈木町の農業近代化をはかりたいと思いますので例年に倍して御協力をお願いしまして年頭のごあいさつにかえさせていただきます。

ブルトーザーの願い

わたくしはブルトーザーです。鉄でできていてふかつこうではありますが、このごろ二つの悲しいことをもっています。今までわたくしの心の中に秘めていましたがいつまでたっても解決されそうにありませんので、うちあけて町民のみなさんのお力をおかりいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

一つはわたくしをコッピどくつかわれることです。いかなる鉄のかたまりでも泣きだしたくなります。そして、ヒマなときはあくまでヒマです。アクビやひるねの毎日です。これもこまって泣きだしたくなります。なぜ人間は桜の花の咲くころ、また夏の日ながにもわたくしを使ってくれないのでしょう。

ま一つはわたくしがウンウンはたらいていると、人間さまがきて「おれものせろ」といわれることです。わたくしはきまった日のところにゆきたいのですけど！

たまたまおくれてゆきますとわたくしをたたいて「なぜきまった日にこぬかい」と叱られます。わたくしはどうすればよいのでしょう。

町内の皆様今年も余すところ数日となりました。今年の冬休みも例年の様に楽しい生活でありますよう御願い申し上げます

去る十二月十二日生活指導主任会で協議致しましたことを御条書き致しますので御一読下さい。

1、子供の火あそびはやめましょう。正月の鬼火焚も例年どおり中止されるように御願い致します。

2、夜間外出は午後六時までとなっています。学生の夜の一人歩きや夜遊びは健全な生活とはいえません。

わたくしたちが守ること

十二月廿一日六日町は父兄同伴でゆっくり楽しんで下さい

3、評しのない映画や芝居に絶対に見る事は出きません。

4、夏休みと同じく一日の計画に従い学習及び家の手伝いなどよく話し合って楽しい生活が出来るよう御願いします

5、道路上の遊びはつつしみましょう。

6、他家のなり木をあらさないこと山林をあらしたり小鳥をとるため、わながけはやってはいけません。

7、公園物の持歩きをしない